

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

2012年 6月 29日

愛知県知事 様

提出者

住 所 名古屋市中区錦3-2-1

氏 名 五洋建設(株)名古屋支店

執行役員支店長 野口哲史

(担当:安全品質環境部 山口勝彦)

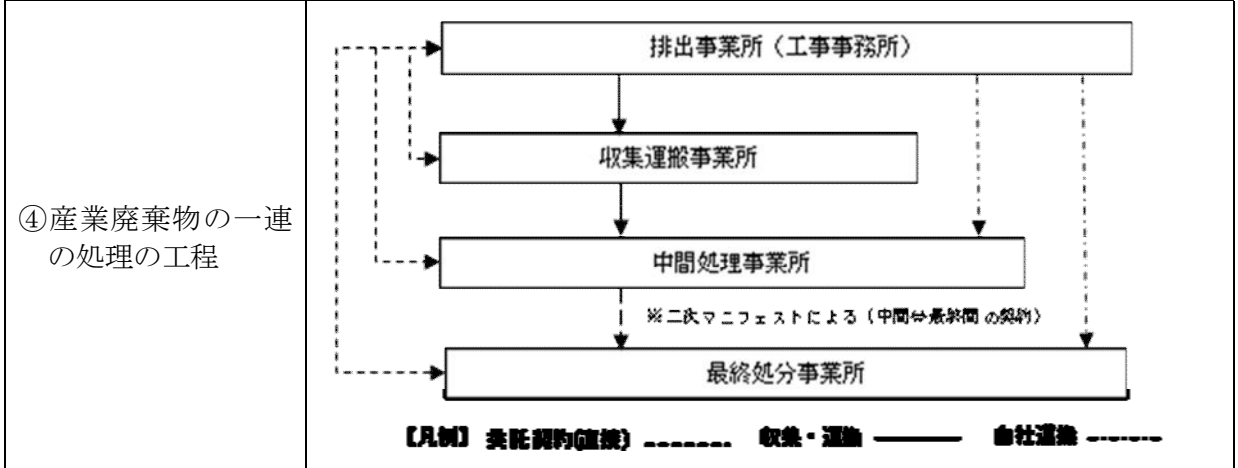
電話番号 042-961-6235

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	五洋建設株式会社 名古屋支店
事業場の所在地	愛知県名古屋市中区錦3-2-1
計画期間	平成24年4月1日～平成25年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

① 事業の種類	総合工事業
② 事業の規模	資本金: 30,449 (百万円) ※平成24年3月31日現在
③ 従業員数	全社: 2,391人 内名古屋支店178人



(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図)			
本社)	土木本部、建築本部	:	適正処理推進と廃棄物処理業務の総括及び指導
	安全品質環境本部	:	部門間調整と関係法令等遵守についての教育指導
支店)	土木部、建築部	:	廃棄物処理総括責任者を定め、適正処理の推進に関する監督指導、
	安全品質環境部	:	協力会社の指導・育成、処理実績の集計及び記録の保管
事業場)	工事事務所	:	部門間調整と関係法令等遵守についての教育指導、自治体別集計及び記録の保管
		:	廃棄物処理責任者を定め、適正処理の推進に関する監督、協力会社の指導、処理実績の集計
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
① 現状	【前年度（2011年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙1の通り	
	排出量	7,426 t	t
	(これまでに実施した取組) <ul style="list-style-type: none"> ・職員・作業員に分別の教育を実施する。 ・資機材の搬入に当たっては、省梱包・無梱包を依頼する。 ・仕上げ材(ALC・成型セメント版等)等をプレカット納品で依頼する。 ・コンクリートガラを場内で再生砕石として再利用する。 ・汚泥を改良し、埋め戻し材として再利用する。 ・ダンボール、金属くずを再生資源として搬出する。 		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙2の通り	
	排出量	6,918 t	t
	(今後実施する予定の取組) <ul style="list-style-type: none"> ・再生資源抑制策を抽出した「ゼロエミッション・チェック表」で着手時に抑制計画を定める。施工部、安全品質環境部も含めた工事前検討会にて抑制計画内容を照査し、改善指導を行う。施工中の取り組み状況を各部署の巡視時に確認し、不足する点については是正および指導を行う。 		
産業廃棄物の分別に関する事項			
① 現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 【分別種類】 廃プラ、金属くず、コンクリート塊、アス・コン塊、紙くず、木くず、繊維くず、混廃(安定型)、混廃(管理型) 【取り組み】 分別ボックスの配置(鉄缶、フレコン)、仮置き用「ハテナ?ボックス」による未分類抑制		

②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 【分別種類】 今後も継続 【取り組み】 今後も継続
-----	---

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（2011年度）実績】 該当なし		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) 該当なし		
②計画	【目標】 該当なし		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 該当なし		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（2011年度）実績】 該当なし		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) 該当なし		
②計画	【目標】 該当なし		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 該当なし		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
① 現状	【前年度（2011年度）実績】該当なし		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) 該当なし		
② 計画	【目標】該当なし		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 該当なし		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（2011年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙1の通り	
	全処理委託量	7,426 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	278 t	t
	再生利用業者への処理委託量	7,404 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	t
	(これまでに実施した取組) 回収品目を再生利用率を調査し、再生品利用を行う事業者と委託契約を締結する。		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙2の通り	
	全処理委託量	6,918 t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	500 t	t
	再生利用業者への 処理委託量	6,886 t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組) 優良認定処理業者を事業所に広報し、同事業者との委託契約を推奨する。		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「—」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

【愛知県】2011年度建設副産物実績集計表

作成2012年5月31日

Table with columns for project details (自治体別, 工事名称, 工期, etc.), material types (コンクリート塊, 木材, etc.), and environmental metrics (Manifest, CO2 emissions, etc.).

1 事業場の概要

項目	内容	項目	内容	備考
事業場の名称	五洋建設株式会社名古屋支店	従業員数 (人)	178	前年度の3月31日現在の従業者数 (パート等の臨時職員及び役員等を含む) を記入して下さい。
記入者名	山口勝彦	当該事業所の元請完成工事高 (万円/年)	631,100	建設業の場合記入。愛知県内 (政令市を除く。) で行われた工事の年間の元請完成工事高 (出来高工事を含む) を記入して下さい。
連絡先	TEL:052-961-6235 FAX:052-961-9358 E-MAL:katsuhiko.yamaguchi@mail.penta-ocean.co.jp	当該事業所の製造品出荷額 (万円/年)	-	製造業の場合記入。前年度の4月1日から3月31日までの1年間の額を記入して下さい。

2 実施状況

項目	産業廃棄物の種類 (名称)	コンクリート塊	木材廃棄物	アスコン塊	その他のがれき類	材木・伐根材
前年度計画の実施状況 (年度実績)	a 不要物等発生量 (t/年)	4,000	150	2,500	1	0
	b 有償物量 (t/年)					
	① 排出量 (t/年) (①=a-b)	4,000	150	2,500	1	
	② 自ら直接再生利用した量 (t/年)					
	再生利用用途	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
	③ 自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量 (t/年)					
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	④ 自ら中間処理した量 (t/年)					
	処理方法	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
	⑦ 自ら中間処理により減量した量 (t/年) (⑦=④-⑥)	0	0	0	0	
	⑥ 自ら中間処理した後の残さ量 (t/年)					
	⑧ 自ら中間処理した後再生利用した量 (t/年)					
	再生利用用途	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
	⑨ 自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量 (t/年)					
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	c 自ら中間処理した後の処理委託量 (t/年) (c=⑥-⑧-⑨)	0	0	0	0	
	d 直接処理委託量 (t/年) (d=①-②-③-④)	4,000	150	2,500	1	
	⑩ 直接及び自ら中間処理した後の処理委託量 (t/年) (⑩=c+d)	4,000	150	2,500	1	
	e 埋立処分又は海洋投入処分の処理委託量 (t/年)					
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
f 委託中間処理量 (t/年)	4,000	150	2,500	1		
処理方法	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	
g 委託中間処理により減量した量 (t/年)						
h 委託中間処理した後再生利用した量 (t/年)	4,000	150	2,500	1		
再生利用用途	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	
i 委託中間処理した後埋立処分又は海洋投入処分した量 (t/年)						
埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	
j 再生利用量 (t/年) (j=②+⑧+h)	4,000	150	2,500	1		
k 中間処理による減量 (t/年) (k=⑦+g)	0	0	0	0		
l 最終処分量 (t/年) (l=③+⑨+e+i)	0	0	0	0		

- (注) 1 産業廃棄物発生・処理フロー図を参考に記載してください。
 2 再生利用用途コード A:原料・材料 B:燃料 C:飼料・肥料 D:建設材料 E:その他(具体的に記載)
 3 処理方法コード A:焼却・熔融 B:脱水・乾燥 C:破碎・圧縮 D:中和 E:その他(具体的に記載)
 4 記入欄が不足する場合は、シートをコピーしてお使いください。なお、この場合、右上No.欄にページを記載してください。
 5 ①~④、⑥~⑩は様式第二号の九又は様式第二号の一四の第2面と同じ項目です。

1 事業場の概要

項目	内容	項目	内容	備考
事業場の名称	五洋建設株式会社名古屋支店	従業員数 (人)	178	前年度の3月31日現在の従業者数 (パート等の臨時職員及び役員等を含む) を記入して下さい。
記入者名	山口勝彦	当該事業所の元請完成工事高 (万円/年)	631,100	建設業の場合記入。愛知県内 (政令市を除く。) で行われた工事の年間の元請完成工事高 (出来高工事を含む) を記入して下さい。
連絡先	TEL:052-961-6235 FAX:052-961-9358 E-MAL:katsuhiko.yamaguchi@mail.penta-ocean.co.jp	当該事業所の製造品出荷額 (万円/年)	-	製造業の場合記入。前年度の4月1日から3月31日までの1年間の額を記入して下さい。

2 実施状況

項目	産業廃棄物の種類 (名称)	建設汚泥	建設混合廃棄物	金属くず	廃塩ビ管・継手	廃プラスチック
	前年度計画の実施状況 (前年度実績)					
a	不要物等発生量 (t/年)	20	50	25	0	15
b	有償物量 (t/年)					
①	排出量 (t/年) (①=a-b)	20	50	25		15
②	自ら直接再生利用した量 (t/年)					
	再生利用用途	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
③	自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量 (t/年)					
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
④	自ら中間処理した量 (t/年)					
	処理方法	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
⑦	自ら中間処理により減量した量 (t/年) (⑦=④-⑥)	0	0	0		0
⑥	自ら中間処理した後の残さ量 (t/年)					
⑧	自ら中間処理した後再生利用した量 (t/年)					
	再生利用用途	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
⑨	自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量 (t/年)					
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
c	自ら中間処理した後の処理委託量 (t/年) (c=⑥-⑧-⑨)	0	0	0		0
d	直接処理委託量 (t/年) (d=①-②-③-④)	20	50	25		15
⑩	直接及び自ら中間処理した後の処理委託量 (t/年) (⑩=c+d)	20	50	25		15
e	埋立処分又は海洋投入処分の処理委託量 (t/年)					
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
f	委託中間処理量 (t/年)					
	処理方法	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E (選別)	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E (選別)
g	委託中間処理により減量した量 (t/年)					
h	委託中間処理した後再生利用した量 (t/年)	20	50	25		15
	再生利用用途	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
i	委託中間処理した後埋立処分又は海洋投入処分した量 (t/年)					
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
j	再生利用量 (t/年) (j=②+⑧+h)	20	50	25		15
k	中間処理による減量 (t/年) (k=⑦+g)	0	0	0		0
l	最終処分量 (t/年) (l=③+⑨+e+i)	0	0	0		0

(注) 1 産業廃棄物発生・処理フロー図を参考に記載してください。
 2 再生利用用途コード A:原料・材料 B:燃料 C:飼料・肥料 D:建設材料 E:その他(具体的に記載)
 3 処理方法コード A:焼却・熔融 B:脱水・乾燥 C:破碎・圧縮 D:中和 E:その他(具体的に記載)
 4 記入欄が不足する場合は、シートをコピーしてお使いください。なお、この場合、右上No.欄にページを記載してください。
 5 ①~④、⑥~⑩は様式第二号の九又は様式第二号の一四の第2面と同じ項目です。

1 事業場の概要

項目	内容	項目	内容	備考
事業場の名称	五洋建設株式会社名古屋支店	従業員数 (人)	178	前年度の3月31日現在の従業者数 (パート等の臨時職員及び役員等を含む) を記入して下さい。
記入者名	山口勝彦	当該事業所の元請完成工事高 (万円/年)	631,100	建設業の場合記入。愛知県内 (政令市を除く。) で行われた工事の年間の元請完成工事高 (出来高工事を含む) を記入して下さい。
連絡先	TEL:052-961-6235 FAX:052-961-9358 E-MAL:katsuhiko.yamaguchi@mail.penta-ocean.co.jp	当該事業所の製造品出荷額 (万円/年)	-	製造業の場合記入。前年度の4月1日から3月31日までの1年間の額を記入して下さい。

2 実施状況

項目	産業廃棄物の種類 (名称)	産業廃棄物の種類 (名称)				
		廃石膏ボード	紙くず	アスベスト (飛散性)	その他 (特管物以外)	その他 (特管物)
前年度計画の実施状況 (年度実績)	a 不要物等発生量 (t/年)	15	10	50	80	2
	b 有償物量 (t/年)					
	① 排出量 (t/年) (①=a-b)	15	10	50	80	2
	② 自ら直接再生利用した量 (t/年)					
	再生利用用途	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
	③ 自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量 (t/年)					
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	④ 自ら中間処理した量 (t/年)					
	処理方法	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
	⑦ 自ら中間処理により減量した量 (t/年) (⑦=④-⑥)	0	0	0	0	0
	⑥ 自ら中間処理した後の残さ量 (t/年)					
	⑧ 自ら中間処理した後再生利用した量 (t/年)					
	再生利用用途	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
	⑨ 自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量 (t/年)					
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	c 自ら中間処理した後の処理委託量 (t/年) (c=⑥-⑧-⑨)	0	0	0	0	0
	d 直接処理委託量 (t/年) (d=①-②-③-④)	15	10	50	80	2
	⑩ 直接及び自ら中間処理した後の処理委託量 (t/年) (⑩=c+d)	15	10	50	80	2
	e 埋立処分又は海洋投入処分の処理委託量 (t/年)					
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
f 委託中間処理量 (t/年)	15	10		80	2	
処理方法	A・B・C・D E (分級、溶融)	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	
g 委託中間処理により減量した量 (t/年)						
h 委託中間処理した後再生利用した量 (t/年)	15	10		50	0	
再生利用用途	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	
i 委託中間処理した後埋立処分又は海洋投入処分した量 (t/年)				30	2	
埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	
j 再生利用量 (t/年) (j=②+⑧+h)	15	10	0	50	0	
k 中間処理による減量 (t/年) (k=⑦+g)	0	0	0	0	0	
l 最終処分量 (t/年) (l=③+⑨+e+i)	0	0	0	30	2	

(注) 1 産業廃棄物発生・処理フロー図を参考に記載してください。
 2 再生利用用途コード A:原料・材料 B:燃料 C:飼料・肥料 D:建設材料 E:その他(具体的に記載)
 3 処理方法コード A:焼却・溶融 B:脱水・乾燥 C:破碎・圧縮 D:中和 E:その他(具体的に記載)
 4 記入欄が不足する場合は、シートをコピーしてお使いください。なお、この場合、右上No.欄にページを記載してください。
 5 ①~④、⑥~⑩は様式第二号の九又は様式第二号の一四の第2面と同じ項目です。